

D
L
I

E
O
N

E
O
G

P
K



part1 TALK
Roger McDonald
ロジャー・マクドナルド

一日見ニや大なる山を眺め
子とてと事ありて命を託す
我而補いし河況一色は秋の空
は留まりて去るの地は少く
つらき事とぞ思ふ
（田能村直入）

気配を視て、奥行きを聴く

2026.10.14 WED 15:30—19:30
〈第1部〉トーク：15時30分—17時終了予定・15時開場
〈第2部〉ライブ：18時—19時30分終了予定・17時30分開場
いずれも参加無料（ただし、トークは要予約）

京都文化博物館

本館6階ミニシアムギャラリー「トーク」／別館ホール「ライブ」

主催：京都府、京都文化博物館 助成：芸術文化振興基金

The Museum of Kyoto 6F Gallery and Annex

A
C
L

M
O
O

B
O
O

長谷川時夫

part2 LIVE

E
N
G

T
O
Y

Tokio Hasegawa / STONE MUSIC

guest Kota S Yamauchi



DEEP LOOKING

〈第1部〉トーク
“Deep Looking”を提唱するロジャー・マクドナルド氏の手引きで、トーク会場内に展示した掛軸作品とじっくり向き合い、鑑賞体験のあり方について再考します。

2026年10月14日[水]
15:30-17:00 終了予定 • 15:00 開場
会場 京都文化博物館
本館6階ミュージアムギャラリー
定員 12名 • 要事前予約



ロジャー・マクドナルド Roger McDonald

NPO法人アーツイニシアティヴウキョウ(AIT)
副ディレクター／インディペンデント・キュレーター

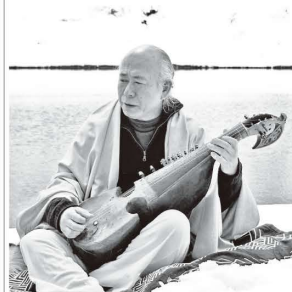
1971年、東京生まれ。ウェールズ大学で国際政治学を専攻、ケント大学大学院にて神秘宗教学と美術史の博士課程を修了。1998年より日本でキュレーターとして活動をスタート。2001年、アーツスクール「Arts Initiative Tokyo (AIT)」を設立(翌年NPO認定)。美術大学の講師を務めながら各地での展覧会のキュレーションを手がける。2010年、長野県佐久市に移住。自然豊かな同地の山中にて、“Deep Looking”と精神性を軸に、アートと意識の探求を行う場として運営する私設美術館フェンバーガーハウスを設立。著書に『DEEP LOOKING』(AIT Press)。



2026年度総合展示「田能村直入と近代京都の南画——自然のアンビエンス」
(2026年10月3日—11月29日)の関連イベントとして、
「アンビエンス(空間の響き)をキーワードに、絵画の鑑賞体験と音楽体験によって没入感を味わうひとときをひらきます。
作品をじっくり深く見る時間と、音に身をゆだねて宇宙観に触れる時間を通して、日常から一歩離れ、心が澄んでいくような芸術空間をお楽しみください。
いずれもご参加は無料です」

〈第2部〉ライブ
南画の主要な画題である山水画では、山や水、空気といった自然が、東洋独自の余白や遠近法によって表現され、超俗的な世界観とともに鑑賞者を絵の中の空間へと誘います。ライブでは、新潟の秘境で自然とともに在る暮らしを実践しながら、山水画の表現にも通じる音楽的探求を続け、独自のコスモロジーを築いてきた長谷川時夫氏率いる即興音楽グループSTONE MUSICとゲストとして山内弘太氏を招きます。アンビエンス(空間的な響き)やドローン(持続音)を用いて、聴く人を包み込む「場」を創出する、没入的な音楽体験をお届けします。

2026年10月14日[水] 18:00-19:30 終了予定 • 17:30 開場
会場 京都文化博物館 別館ホール
定員 200名 • 予約不要、先着順



長谷川時夫 Tokio Hasegawa

ミティラー美術館館長

1948年、東京生まれ。アルバート・アイラーやジョン・コルトレーンの影響でテナー・サクソスを手にした後、1969年に前衛音楽家グループのタージ・マハル旅行団結成に参加。独自の発声法による読経や石を使ったパフォーマンスを確立した。タージ・マハル旅行団としてヨーロッパ・ツアーを行い帰国して以降、新潟県十日町市大池に住み、1982年にインドのフォークアートを扱うミティラー美術館を同地に創設。以来、インドから多数のアーティストを招聘しつつ、雪深い新潟の大地に根ざした独自の自然観、宇宙観を深化させてきた。近年は若手音楽家を集めてSTONE MUSICとして各地でライブを実施。2023-26年にかけては毎年インドツアーも実施し、インド国内(インド国立博物館、ビハル博物館ほか)でライブを行う。



出演

STONE MUSIC

長谷川時夫、Tatsuro Murakami、kentarō nagata、荒木真、
今尾拓真、伊勢けいた、Mami Konishi、松本一哉、毛利桂、
Tyler Eaton、藤原るか、Keisuke Sakai、野中克哉、三隅涼子、
DJダンボール、中谷一陽、むんな

山内弘太(ゲスト)



交通案内

地下鉄「烏丸御池駅」下車、5番出口から三条通を東へ徒歩約3分
阪急「烏丸駅」下車、16番出口から高倉通を北へ徒歩約7分
京阪電車「三条駅」下車、6番出口から三条通を西へ徒歩約15分
JR・近鉄「京都駅」から地下鉄へ

THE MUSEUM OF KYOTO
京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL.075-222-0888 www.bunpaku.or.jp



田能村直入と近代京都の南画
——自然のアンビエンス
2026年度総合展示
会期 2026年10月3日(土)―11月29日(日)
休館日 月曜日(ただし、10月12日、11月23日は開館、
10月13日、11月24日)
会場 京都文化博物館 本館2階総合展示室
開室時間 10時―19時30分(入場は19時まで)
入場料 一般600円(480円)、
大学生400円(320円)、高校生以下無料
・()内は20名以上の団体料金
・フィルムシアター3階もご覧いただけます(ただし催事により別途
料金が必要な場合があります)
料金が必要な場合があります



AMBIENT
COMBO
L O S M O
G Y